

[FC エンジン Xpress-1] の諸元 (NHK 名古屋ロボットカメラ用)



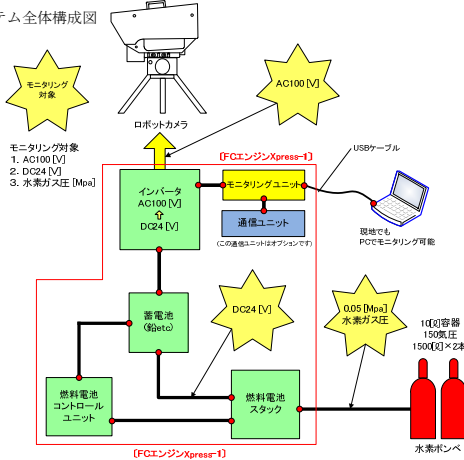
[FC エンジン Xpress-1]

1. AC100V 3A(300W)
DC24V 12.5A(300W) DC12V 25A(300W)
2. 簡易防水(屋外で使用可能)
3. CO₂排出量ゼロ
4. 連続運転720時間(30日)フリーメンテナンス
(条件 470容器 150気圧 水素ガス 70000 5本)
5. 連続トータル発電容量 1430Wh/日
6. 燃費 1Wh出力時
水素ガス消費量 1.013ℓ (0.14円) 【1kWh:140円】
7. 水素ガス遮断後
50W出力で24時間以上
300W出力で3時間以上連続供給が可能
(NHK名古屋ロボットカメラ仕様)

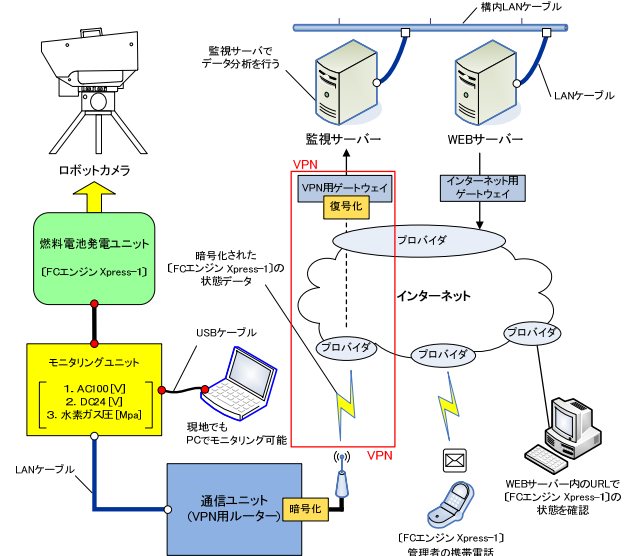
このシステムは「燃料電池発電システム」を分かり易く見て頂くためのデモ機です。
製品には電流計、電圧計等の計測器は実装されません。
実際の製品容量は、デモ機の1/3程度で約300Whです。

[FC エンジン Xpress-1] モニタリングシステムの概要

システム全体構成図



[FC エンジン Xpress-1] モニタリング通信システム構成図



[FC エンジン Xpress-1] モニタリング通信システムの特長

1. モニタリング対象に異常が発生した時、システム管理者の携帯電話にメールで知らせます。
1-1. AC100Vに異常が発生した場合→黄色発光と警告ブザー
1-2. 燃料電池発電電圧(DC24V)に異常が発生した場合→赤色発光と警告ブザー
1-3. 水素ガス圧に異常が発生した場合→青色発光と警告ブザー
2. VPNで通信しているのでセキュリティ性が高いです。
3. モニタリングサーバーが立ち上がっている場合、その状態を
URL (<http://nindex.com/xpress-1/>) から見る事ができます。
4. WiMAX等のモバイル通信機能を通信ユニットに搭載しているのでインターネット環境が整っていない場所でもFCエンジンの状態データを監視サーバーへ送信する事ができます。

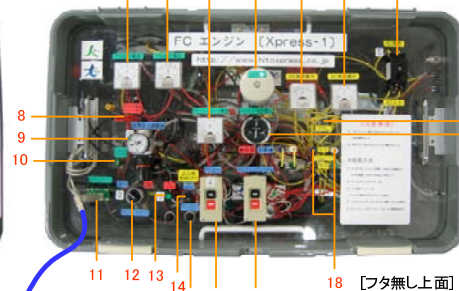
[FC エンジン Xpress-1] 各部名称

[FCエンジン Xpress-1]の大きさ
W(890mm)×D(450mm)×H(500mm)
容積 100ℓ

台車の大きさ
W(500mm)×D(370mm)×H(110mm)



[フタ付上面]



[フタ無し上面]



[搬送用台車]

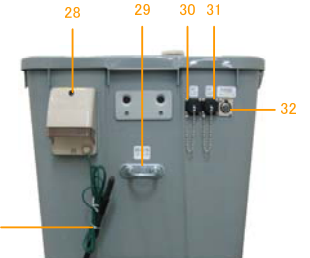


[左側面]

現地モニタリングPC



[正面]



[右側面]

- 1 FC出力電流計 (A)
- 2 FC出力電圧計 (V)
- 3 FCコントローラ電流計
- 4 モニタリングシステム警告灯
- 5 AC100V電流計 (A)
- 6 AC100V電圧計 (V)
- 7 AC負荷スイッチ
- 8 DC24V警報チェック端子
- 9 水素圧力調整弁
- 10 水素切れ検知信号端子
- 11 モニタリングシステムメンテナンス端子 (RS232C→USB変換)
- 12 FCコントローラ ON/OFFスイッチ
- 13 発電起動スイッチ
- 14 FC SCUSスイッチ
- 15 FCコントローラ ヒューズ(7A)
- 16 FC出力 ON/OFFスイッチ
- 17 モニタリングシステム ON/OFFスイッチ
- 18 電力積算計、使用電力計接続端子
- 19 バッテリー充電電流監視電流計
- 20 AC100V波形チェック端子



[底面]

- 21 水素供給口
- 22 モニタリングシステム出力口
- 23 排水口
- 24 排水受け皿
- 25 FC冷却ファン
- 26 排気口防水カバー
- 27 固定用フック
- 28 AC100Vコンセント (防水)
- 29 固定用フック (地震対策用)
- 30 DC12V出力端子
- 31 DC24V出力端子
- 32 NHKロボットカメラ接続端子 (DC24V)
- 33 アース棒
- 34 固定用ゴム足

(Fuel Cell)

FC発電システム [FCエンジンXpressシリーズ] モニタリングネットワークシステム詳細図

